

# 1000人目の声

— 選ばれる町となるには —

寄居町の外に出て初めて町  
住んでいないからこそわか

のいいところがあった。憧れの町、もっと良い町にするには…。  
る寄居町。町外からの「声」

議会だよりへの町民登場が1000人となる今号では、寄居町議会だよりの真骨頂、「ダブル表紙による特集&町民取材」で、町のゆくえを探る。こちらウラ表紙からは「町外から見た寄居町への声」を掲載。ぜひオモテ表紙からの「町内の声」とあわせて読んでほしい。きっと、見えてくるものがあるはずだ。

私はきっと、  
10年後、20年後、  
そして30年後も  
ずっと寄居に  
関わっていると思う。

ビールの原料となる  
寄居町で収穫したホップ



聴

しのぎこうや  
**篠崎 紘也さん** (東京都・寄居町の2拠点)

東京都生まれ。  
フードロスの仕事の関係で寄居町の農業に関わり始め、その後、中間平の気候がビールの原料であるホップ栽培に最適と知り、町に相談。地元農家を紹介され、寄居の食のストーリーの一環としてのホップ栽培を始める。現在、東京との2拠点生活。寄居町の魅力は「なんといっても人!」。懐が深くてお節介々な人、食やものづくりに真剣な人が多くて素晴らしい町だと思う。様々な生産者さんとつながり、食の発信を続けていきたい。

取材議員の  
**視点** **ずっと関わっていく魅力のある町**

町の魅力を最大限に評価し、「ずっと関わっていく場所」として寄居町を選んでいる。2拠点生活、これも新しい選択肢。

考

聴

さいとうかずみ  
**齋藤 和美さん** (東京都)

寄居町市街地出身。ピラティスインストラクター

ピラティスに魅了され、3人の子育て中にインストラクターの資格を取得し、都内のスタジオを中心に活動。3月に寄居町(Yotteco)で初めてピラティス講座を開催。寄居に帰ってくると、自分自身にパワーチャージができる気がする。人の良さ、温かさがこの町の良いところ。これからもコンスタントに帰ってきて、今度は私が寄居にパワーチャージしたい。

取材議員の  
**視点** **新しい何かを始める場所に**

スッと背筋を伸ばして「Yotteco が一目で気に入りました」という齋藤さん。町の温かさを誰よりも知っているから、新しい何かを始めるなら、まずはココから思ってもらえる。「ふるさと」の根底にあるチカラ。

考

寄居町は私に  
とって、自分に  
パワーチャージ  
できる場所。



多くの方が参加したピラティス講座 (Yotteco)

聴

ねがし あい  
左 **根岸 愛さん** (本庄市)  
かめざわのぞみ  
右 **亀澤 望美さん** (熊谷市)

齋藤さんがピラティス講座を開催すると聞き、町外から参加してくれたという友人。  
寄居町は子どもや若い人が楽しめる場所がなかなかないし、飲食店もバラバラな場所にあつて、数も少ないですね。でも、生まれ育ったところなので、懐かしいし、帰ってくると安心できる場所です。

